

いちき串木野市地域学校協働活動

学校応援団だより

～できることを できるときに できるところから～

＝みんなで支える学校 みんなで育てる学校＝

No. 5-6(216)

令和5年9月8日

いちき串木野市地域学校協働活動事業本部

寺子屋活動（川遊び）

旭小学校では7月27日（木）に芹ヶ野地区の自然豊かな小川で川遊びをしました。

初めに推進委員の方から川遊びの注意があり、子どもたちは道路から2メートルほど下の川に入っていました。

川幅は2～3メートルほどで、深さもひざ下くらいと安全な場所ですが、水は冷たく、子どもたちは大はしゃぎでした。

「山太郎カニがいるかも」と聞いていたので、大きな石を子供3、4人がかりで掘り起こしてカニを発見しましたが、捕らえることはできませんでした。それでも網を使い、小さいカニを捕まえている子供もいました。

この川の上流は人家もなく、田舎の原風景が残る地域で、自然の中での貴重な体験になります。

推進委員の方は、大変ですが、本活動が来年以降も継続出来るよう、お願いします。

寺子屋活動（紙ねんど工作）

旭小学校では、8月18日に8名のボランティアの方に支援して頂き、紙ねんど工作をしました。何を作るかは自由で、子どもたちは初め手が動きませんでした。徐々にイメージ出来、ねんどをねりはじめました。

最初にねんどに色をつけ、こねてから形を作り出す子どももいれば、形を作ってから色を塗り始める子どももいて、さまざまな作品になっていきました。



カニ捕りにチャレンジ！



カニをゲット！



自然の中、貴重な川遊びでした。

女子は花模様の飾りものや人形が多く、男子は動物や恐竜が多かったです。ボランティアの方にアドバイスを求めてくる子どももいました。

一緒に寄り添い活動している風景は、年代を超え、同じ時間を共有できる貴重な活動と思えました。

寺子屋活動（石絵塗り工作）

旭小学校では、8月23日に8名のボランティアの方に支援して頂き、石絵塗り工作をしました。直接ペイントしたり、ビーズを石に張り付けたりして作りました。

準備してあった石や貝がらはボランティアの方が事前に海岸で拾ってきたもので、表面がさらさらしていて絵を描きやすいものでした。携帯で自分のイメージした絵を映し出し、絵を描きこむ子どももいました。

寺子屋活動は推進委員の方やボランティアの方が毎年、新しいイベントはないかと考案して頂いています。

子どもたちにとっては、今年は何があるのだろうかと楽しみにしているようです。



色塗りのアドバイス！



ピザが出来ました！



携帯を参考に！



夏休みのいい思い出！。

連絡先＝市来庁舎3階 市教育委員会 社会教育課
 (TEL 21-5128) (FAX 36-5044) / ご意見・質問・相談もどうぞ
 地域学校支援コーディネーター (有元 操・藤崎 裕史)

* 本応援だよりはいちき串木野市HPでもご覧になれます。

アドレス：<http://www.city.ichikikushikino.lg.jp/>

MENU (教育・文化スポーツ) (社会教育) (学校応援団だより)

又、市立図書館(本館)の掲示板にも掲載しています。